

人口総数	63,874	世帯数	17,324
男	30,970	面積	16.07km <sup>2</sup>
女	32,904		

# 報あしや

昭和41年 7月5日 第200号

発行所 芦屋市精道町93 芦屋市役所 発行人 芦屋市長 編集 公聴広報課 印刷所 オール出版印刷 毎月1回5日発行 全世帯配布 昭和29年1月25日第3種郵便物認可 (定価2円)

## ▷ 芦屋市民憲章 ◁

わたしたち芦屋市民は

- 文化の高い教養豊かなまちをきざましよう
- 自然の風物を楽しみ、まちは緑と花でつつましよう
- 青少年の夢と希望をすこやかに育てましよう
- 健康で明るく幸福なまちをつくりましよう
- 災害や公害のない清潔で安全なまちにましよう

# 大合戦で健康なまちを

健康なまち、蚊もハエもいない美しいまち。この理想をめざし市では芦屋保健所や市内医療連盟の諸団体の協力を得て積極的に衛生施策を進めています。

これまで、市の衛生行政の中心であった清掃事業をより活発にするだけでなく、市民のからだにのびる病魔を予防、あるいは早期に撃退する対策にも精力的にとりこんでいるわけです。

## 病魔に先手の新事業

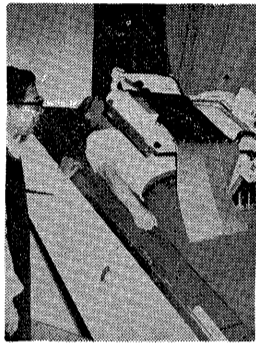
### 血液確保や肺ガン対策も

病魔対策としては、法律で定期 発症させることになっていす。

に受けなければならないときめら ている短そ、シフテリア、腸 チフス、パチフス、百日せき、 急性灰白くさいの予防接種を昨年 から全部無料にしました。また、 こころは、死亡率の高いガン対策 のひびいて胃の集団検診を行 ない、多くの市民から喜ばれてい ます。

秋に行なう結核検診の際には、 肺ガン発見の検診もあわせて実施 することになっています。

さらに、市民の方が重い病気に かかられたり、思わぬ災害にあわ れたりしたときに備えて、新鮮な 血液を確保する体制を固めるため、 七月には市内に血液問題協議会を



### 診受診してひと安心

胃 異状の胃因わかり好評

五月七日から、市が芦屋保健所 の協力を得て実施している「胃の 集団検診」は大好評で、申込総数 は千人に達しました。六月十九日 までに受診された百七十七人 は、やはり成人病の年令といわれ

胃 異状の胃因わかり好評

五月七日から、市が芦屋保健所 の協力を得て実施している「胃の 集団検診」は大好評で、申込総数 は千人に達しました。六月十九日 までに受診された百七十七人 は、やはり成人病の年令といわれ

胃 異状の胃因わかり好評

五月七日から、市が芦屋保健所 の協力を得て実施している「胃の 集団検診」は大好評で、申込総数 は千人に達しました。六月十九日 までに受診された百七十七人 は、やはり成人病の年令といわれ

胃 異状の胃因わかり好評

五月七日から、市が芦屋保健所 の協力を得て実施している「胃の 集団検診」は大好評で、申込総数 は千人に達しました。六月十九日 までに受診された百七十七人 は、やはり成人病の年令といわれ

胃 異状の胃因わかり好評

五月七日から、市が芦屋保健所 の協力を得て実施している「胃の 集団検診」は大好評で、申込総数 は千人に達しました。六月十九日 までに受診された百七十七人 は、やはり成人病の年令といわれ

胃 異状の胃因わかり好評

五月七日から、市が芦屋保健所 の協力を得て実施している「胃の 集団検診」は大好評で、申込総数 は千人に達しました。六月十九日 までに受診された百七十七人 は、やはり成人病の年令といわれ

胃 異状の胃因わかり好評

五月七日から、市が芦屋保健所 の協力を得て実施している「胃の 集団検診」は大好評で、申込総数 は千人に達しました。六月十九日 までに受診された百七十七人 は、やはり成人病の年令といわれ

る三十五才から六十才までの方が 八十六%を占めています。受診者 全体のうち五十三%にあたる百九 十九人の人に、胃下垂とか胃炎と かの症状が見られ、このうち、胃 かいよ、十二指腸かいよ、胃炎、 なをのたため注意と診断され た人が三十一人、「要医療」と指 示された人が十六人、改めて胃力 メラによる精査を受けた人が 五十一人でした。

胃精密検査の結果は要注意者が十 一人、「要医療」が十一人、この中 からは早期胃ガンの疑いがある人 も見つかりました。こうして市 民の胃の異状発見に大 きき効果をあげ、もし かしららと心配して いた人からはその原因 がはつきりしたと喜ば れています。検診の申 込は引き続き市衛生総 務課で受けつけていま すから、氏名住所、電話、生年月日 受診日は土曜か日曜かをがきに 書き、お申し込みください。

空から殺虫薬散布

7月20日の朝 (雨天順延)

日本脳炎の病原 体、養魚池にはふたをさす。 食物や食品原料、食器類に薬剤 がつかないよう注意。洗たく物 など汚染の心配のものは取り入れ やハエを駆除する ため、ヘリコプタ ーで薬剤を散布し ます。空散布は 七月二十日午前五 時から約三時間行 なう予定です。 当日雨や風が強いときは順次翌日 以降に日のべします。

注意 ①小鳥や飼育虫類は屋 内に入れること。②井戸、水が 庭のすみなど、常日ごろこまこ

真夏の健康は大そうじで

七月十六日か ら二十三日まで、 各家庭の隅々、 押し入れ、床下、押入 などのすみなど、 常日ごろこまこ

大そうじで

七月十六日か ら二十三日まで、 各家庭の隅々、 押し入れ、床下、押入 などのすみなど、 常日ごろこまこ

大そうじで

七月十六日か ら二十三日まで、 各家庭の隅々、 押し入れ、床下、押入 などのすみなど、 常日ごろこまこ



## なごやかにくわ入れ

アシヤパーク 渡辺市長ら モ市から帰国

渡辺市長ら、モ市から帰国

アシヤパーク 起工式に参列

姉妹都市モンテペロからの 招きにこたえて同市を訪問し ていた渡辺市長らは、10日間 の日程を終えて、6月1日元

ハワイを経て六月二十四日の夜、モンテペロ市入りをした一行は、

ハワイを経て六月二十四日の夜、モンテペロ市入りをした一行は、

ハワイを経て六月二十四日の夜、モンテペロ市入りをした一行は、

ハワイを経て六月二十四日の夜、モンテペロ市入りをした一行は、

ハワイを経て六月二十四日の夜、モンテペロ市入りをした一行は、

ハワイを経て六月二十四日の夜、モンテペロ市入りをした一行は、

## 交通事故

6月1日~30日	事故	71件
	死者	1人
	負傷者	34人

1月からの事故死者負傷者 366件 3人 186人

## 犯罪のない、明るい、快適な夏

これからは夕涼みの散歩や、夜遅く帰られる市民も多くなります。痴漢やしのびこみの事件は暗いところで起こります。自分のためにも、通行する人たちのためにも

## 門灯は朝まで点灯を

## お中元にたばこ



お買物も市内で





# 青少年に夢と希望を

「青少年の夢と希望をすくやかに育てよう」と市民憲章にあります。次代にたいして、青少年の健全な育成については、家庭で学校で職場で地域で、直接青少年を対象に、あるいは一般市民の啓蒙を中心とするいろいろな行事が展開されています。しかし、こうした、青少年の保護育成対策は複雑多岐に分かれ、また、多くの問題をかかえているのが現状です。

そこで、昭和四十一年度の青少年対策の実施目標である、「心のつかう愛着活動の推進」「手をくわえて非行と事故を防止」「勤労青少年の幸せの増進」「青少年を主役とした活動の伸長」を中心に、こうした青少年対策の活動の中心である青少年課の仕事と、現在当面している問題をとりあげてみました。

## 山積する問題に取り組み

### 市教委 青少年課とその周辺

**青少年課の仕事**

青少年課には、育成係と指導係とがあり、育成係は、主として、青少年団体の指導や指導者の研修や協議会の企画実施、青少年問題協議会の事務、各種の調査、他の部課に属さない勤労青少年問題、青少年の交歓活動その他健全育成の諸行事の企画実施、ユース・ホステルの管理運営などがあります。

指導係は、市立少年補導所として、補導所の運営連絡会等の協議にもとづき、補導行政の推進をはかっています。学務連絡会、学校補導委員会、育成補導委員、補導員、困難者自身青少年課の行政の課題といえます。それらの問題は、

**不在家庭児対策**

宮小にモデル児童会

「家庭だんらんの日」を推し進め、明らかにして今日の問題となり、不在家庭児対策には、力をそそぎ、一昨年から、規模は小さいながら、夏季休暇中の学習コーナーの開設、各種レクリエーション行事への案内、家庭への啓蒙を行なっています。これは、一歩前進して、モデル児童会として、不在家庭児が多い宮小小学校に設置することになりました。もちろん、本市の場合、他市に比べて著しく該当者は少ないのですが、現在の青少年問題の焦点は、いわゆるこれら児童は、かえって一般の児童よりも、たくましく、自主性、忍耐力のあることも強調されていますが、問題になりまは、生活指導や家庭内のだらだらや人間関係です。同校の先生方の積極的な協力で、児童会にまで発展しましたが、この児童会がすくすくと成長し、目的に達するために、一般市民の方々の協



## 教育のページ

毎夏市内の青少年団体がこのファイヤー大会

余暇は楽しく青少年センターで



各学校で正しい交通の訓練



### 非行と事故の防止

現在の非行の傾向は、初犯少年が非常に多く全体の約八割を占め、一般化、普通化の様相を呈しています。うちの子供に限らず、また、安易さは危険です。また、全国的にも性犯罪が非常に増加していることも事実です。こうした点では、層間だからという安易感

### 勤労青少年の現状

本年、若屋市へ就職した青少年は百七人あり、高校生、中学生が約半々です。現在各事業所に対して、商工会と市が協同して調査を行なっていますが、さらに八月にはこのうち勤労青少年を抽出して面接的な調査を行なう計画を進めています。これは、本市に働く青少年が少しでも豊かに健全に日々を暮らすよう、関係機関や団体がこの対策の資料にしたいと思われています。OAAやグループ活動があり、勤労青少年が、そうした事業がどのような方向で進められなければならないかなどの貴重な資料となるものです。市立学校の中学生の対策も今後の重要な問題となりますが、勤労青年層の非行増加や交通事故増加などの防止対策もこの調査と併行して実施しなければなりません。

### 少年相談室

こうした多くの青少年問題に、この個人的な悩みやグループの悩み、また、家庭での悩みは地域や職場での悩みなどに対して、本市では少年相談室を行なっています。専門家の助言で解決にあたっています。

少年相談の種類には色々ありますが、現在最も多いのは、少年の性格問題や生活態度の問題です。これに付随して家族関係を中心とした家庭問題、ついでに少年の指導問題が、各学校や関係機関等からあります。また、少年相談の中でたいへん積極的な面として、幼児の遊戯療法やカウンセリングが行なわれています。

### 団体活動の指導者の養成

この夏休みの生活が事故なく、健全であるよう、地域社会で、校外児童会、生徒会が活発に進められ、夏休みが近づいてきました。グループ活動やちょっとした集会に、公民館の視聴覚ライブラリー、16mm、映写機、フィルム、テー

### 毎月七日はみんなで歩こう

毎月七日は「健康の日」です。この日は、午前九時に保健所に集合し、体操や「歩け歩け」を実施することになっており、一般市民の方が一人でも多く参加して下さるのを待っています。場所は、岩園小、精道小、山手幼、青少年センターの計五カ所です。七月二十五日から八月二十四日まで親子文庫を開きます。時間は平日午前九時から午後五時、土曜日は正午まで。

### 反とその対策

増加する交通違反

交通戦争の名で呼ばれ、受験戦争とともに、青少年にとって、人間性を著しくゆがめ、多くの悲劇をもたらしている交通問題では、最近特に青少年の交通違反や事故の増加が目立って多くなっています。こうしたことから、家庭裁判所では、毎月一回青少年センターで出張審判を開き、少年の保護指導を行なっていますが、青少年課ではさらに、警察署、交通安

## 「健康問週」の諸行事にあなたも参加を

八月一日〜七日

の健康問週中全市民を対象に、朝朝庭の会(六日七時半、川西二スコート)朝朝庭の会(六日七時半、若屋球七時半、若屋球場)朝朝庭の会(六日七時半、各市民クラブ)日本アルプス登山(八月十一日〜十六日)

詳細は市教委体育保健課へ。

## この夏も無事故できよう

「6時になったら家に帰ろう」一夏休み期間中の午後6時には、市庁舎、各学校のチャイムを鳴らし、子供たちに帰宅をうながす

「みんなで事故や非行の防止に努めよう」一市民ぐるみのパトロールと愛護班活動の中で、水難、交通事故から子供を守り、海や山での非行防止にも努める

「健全な青少年団体活動を伸ばそう」一規律ある団体訓練、自然に親しみながら、協同、寛容、忍耐などの良い習慣を身につける野外活動などの奨励、そうした子供たちの要求をとり入れる。

「家庭だんらんを進めよう」一毎月第3日曜日の「家庭だんらんの日」だけではなく、ふだんから家族ぐるみで話し合い、明るく楽しい家庭づくりを進める。

## 夏の青少年をたくましく育てる運動

七月二十日〜九月十日

主催 若屋市青少年問題協議会

七月の婦人学級

【合同学習】七月二十五日「市民性の向上を」として「第一回山手」八日 女性と文学、精道「八日 夏向き料理、二十二日 市内施設見学」岩園「十三日 美容操、美容食を含む」二十八日 市民税の行くへ「山打ち」十八日 施設の見学「岩園」五日 市政研究「埋立問題について」十九日 神戸裁判所見学「打」二十日 NHK見学、二十八日 一般教養「夏の衛生について」

映写機やフィルム貸します

夏休みが近づいてきました。グループ活動やちょっとした集会に、公民館の視聴覚ライブラリー、16mm、映写機、フィルム、テー

図書館の親子分室

ことしは五カ所です

毎年、夏休み期間中、市内の各所で、図書館の親子文庫が店開きをします。児童書や教育書から育児書、婦人雑誌まで、いろいろな親子文庫の利用者は昨年、開設期間中一日平均およそ六十八人ありました。そして、これは宮小に一方所あつて、岩園小、精道小、山手幼、青少年センターの計五カ所です。七月二十五日から八月二十四日まで親子文庫を開きます。時間は平日午前九時から午後五時、土曜日は正午まで。

毎月七日はみんなで歩こう

毎月七日は「健康の日」です。この日は、午前九時に保健所に集合し、体操や「歩け歩け」を実施することになっており、一般市民の方が一人でも多く参加して下さるのを待っています。場所は、岩園小、精道小、山手幼、青少年センターの計五カ所です。七月二十五日から八月二十四日まで親子文庫を開きます。時間は平日午前九時から午後五時、土曜日は正午まで。

反とその対策

増加する交通違反

交通戦争の名で呼ばれ、受験戦争とともに、青少年にとって、人間性を著しくゆがめ、多くの悲劇をもたらしている交通問題では、最近特に青少年の交通違反や事故の増加が目立って多くなっています。こうしたことから、家庭裁判所では、毎月一回青少年センターで出張審判を開き、少年の保護指導を行なっていますが、青少年課ではさらに、警察署、交通安

不在家庭児対策

宮小にモデル児童会

「家庭だんらんの日」を推し進め、明らかにして今日の問題となり、不在家庭児対策には、力をそそぎ、一昨年から、規模は小さいながら、夏季休暇中の学習コーナーの開設、各種レクリエーション行事への案内、家庭への啓蒙を行なっています。これは、一歩前進して、モデル児童会として、不在家庭児が多い宮小小学校に設置することになりました。もちろん、本市の場合、他市に比べて著しく該当者は少ないのですが、現在の青少年問題の焦点は、いわゆるこれら児童は、かえって一般の児童よりも、たくましく、自主性、忍耐力のあることも強調されていますが、問題になりまは、生活指導や家庭内のだらだらや人間関係です。同校の先生方の積極的な協力で、児童会にまで発展しましたが、この児童会がすくすくと成長し、目的に達するために、一般市民の方々の協

山積する問題に取り組み

市教委 青少年課とその周辺

青少年課には、育成係と指導係とがあり、育成係は、主として、青少年団体の指導や指導者の研修や協議会の企画実施、青少年問題協議会の事務、各種の調査、他の部課に属さない勤労青少年問題、青少年の交歓活動その他健全育成の諸行事の企画実施、ユース・ホステルの管理運営などがあります。

非行と事故の防止

現在の非行の傾向は、初犯少年が非常に多く全体の約八割を占め、一般化、普通化の様相を呈しています。うちの子供に限らず、また、安易さは危険です。また、全国的にも性犯罪が非常に増加していることも事実です。こうした点では、層間だからという安易感

勤労青少年の現状

本年、若屋市へ就職した青少年は百七人あり、高校生、中学生が約半々です。現在各事業所に対して、商工会と市が協同して調査を行なっていますが、さらに八月にはこのうち勤労青少年を抽出して面接的な調査を行なう計画を進めています。これは、本市に働く青少年が少しでも豊かに健全に日々を暮らすよう、関係機関や団体がこの対策の資料にしたいと思われています。OAAやグループ活動があり、勤労青少年が、そうした事業がどのような方向で進められなければならないかなどの貴重な資料となるものです。市立学校の中学生の対策も今後の重要な問題となりますが、勤労青年層の非行増加や交通事故増加などの防止対策もこの調査と併行して実施しなければなりません。

### 第9回 芦屋夏期大学 一精道小学校講堂一

第1日 / 7月27日(水)

□講演「日本外交の要諦」 元国連大使 沢田 廉三氏

□独 唱 石井好子女史

ピアノ伴奏 寺島 尚彦氏

■講演「日本の宇宙開発」 東大宇宙航空研究所長 科学技術庁宇宙開発本部長 高木 昇氏

第2日 / 7月28日(木)

□講演「生理学からみた子どもの心とからだ」 東京教育大学教授 杉 靖三郎氏

□講演「ふるさとと文学」 作家 山崎豊子女史

■講演「新しい家族関係」 京都大学教授 会田 雄次氏

■吹奏楽演奏 芦屋市立山手中学校 吹奏楽部

受講料 市民の方は無料、市外の方は300円(に限る)で、精道町93 市教委 夏期大学 申込み 20日までに、往復はがき(1枚1人 係へ(市外の方は300円添付のこと)

### この夏も無事故できよう

「6時になったら家に帰ろう」一夏休み期間中の午後6時には、市庁舎、各学校のチャイムを鳴らし、子供たちに帰宅をうながす

「みんなで事故や非行の防止に努めよう」一市民ぐるみのパトロールと愛護班活動の中で、水難、交通事故から子供を守り、海や山での非行防止にも努める

「健全な青少年団体活動を伸ばそう」一規律ある団体訓練、自然に親しみながら、協同、寛容、忍耐などの良い習慣を身につける野外活動などの奨励、そうした子供たちの要求をとり入れる。

「家庭だんらんを進めよう」一毎月第3日曜日の「家庭だんらんの日」だけではなく、ふだんから家族ぐるみで話し合い、明るく楽しい家庭づくりを進める。

7月20日〜9月10日

夏の青少年をたくましく育てる運動

主催 芦屋市青少年問題協議会

